

小林健二 一般質問



東京の未来を着実に切り拓く
課題解決に全力
**成熟都市・
東京の未来へ向けて!!**

2月27日の本会議一般質問に登壇し、文化芸術振興、障がい者施策、若年性認知症対策、下水道事業等について質問を行いました。

文化を活用した地域活性化を!

小林 夏の盆踊りを活性化し、一大イベントを開催する等、地域の皆さんになじみの深い文化を活用した地域活性化を進めていくべき。

生活文化局長 答弁 新たに創設する地域に根差した芸術文化活動に対する助成制度も活用しながら地域振興等につながる取り組みを広げていきます。



障がい者が文化芸術を楽しめる取り組みを!

小林 障がいのある方々が文化芸術を楽しんで頂けるよう、最先端の技術も取り入れた環境整備をしていくべき。

生活文化局長 答弁 障がい者の芸術文化鑑賞のための環境づくりを促進する芸術文化団体やNPO等のすぐれた取り組みを、新たな助成制度によって支援をしていきます。



アニメ振興の活性化を!

小林 国内や海外に向け、アニメをはじめとするジャパン・ポップカルチャーの情報発信、さらには重要な観光資源として活用していくべき。

産業労働局長 答弁 区市町村や民間事業者とも連携して、アニメに関する情報をより幅広く収集し、内容を充実させて、ウェブサイト上で情報を容易に入手できるよう工夫し、アニメを活用した地域への旅行者の誘致に取り組んでいきます。



若年性認知症対策の充実を!

小林 認知症疾患医療センターにおいては高齢者だけではなく、若年性認知症も含めた認知症対策に取り組んでいくべき。

福祉保健局長 答弁 来年度、認知症疾患医療センターを区市町ごとに設置していく予定で、若年性認知症の方にとっても身近な医療的支援が受けられる体制となり、対策を推進していきます。



都営住宅における聴覚障がい者への支援を!

小林 聴覚障がいのある都営住宅居住者への個別のサービスは、居住者の方々へ広く周知を図り充実させていくべき。

都市整備局長 答弁 聴覚障害者とのファクシミリによる連絡対応について、居住者向けの広報誌で周知を図るなど、一層の普及に努めていきます。



詳しくは東京都議会ホームページで [東京都議会](#)

都議会公明党 ニュース

東京都議会
平成27年 第1回定例会特集
会期：2月18日～3月27日

春季号



都議会議員
小林健二

〒177-0031 練馬区三原台2-18-28 TEL.03-6794-6210

成熟都市・東京の未来へ向けて!! 東京の未来を着実に切り拓く課題解決に全力

代表質問



東京から世界へ。平和への意志を発信

昨今世界では、テロと報復、そして紛争が吹き荒れ、そこに頻発する経済危機が加わり、平和や国際秩序の崩壊への不安に包まれています。これまで都議会公明党は日本の首都・東京には、国の外交とは全く次元の異なった世界との関わり方、国益と国益のぶつかり合いではない交流「都市外交」を重要視してきました。

東京は5年後に迫った東京五輪に向けて、平和への意志の結集とテロや紛争の解決を強く呼びかけ、生命の尊厳と基本的人権を守り抜くという理念を、繰り返し世界に強く発信していきます。

就労支援施策

就労支援へキメ細やかな具体策を

都は昨年末に発表した長期ビジョンの中で、今後、年間5千人、3年間で1万5千人の非正規職労働者の正規職化を目指すとして発表しました。そこで重要なことは、働くことを希望する人が、自ら希望する働き方を、自らの努力で手に入れることができる環境づくりです。

都は平成27年度から、下記の具体策を講じていきます。

- 1 若者応援企業に対する独自の採用奨励金を創設
- 2 非正規職期間が長い方を対象とした、職務経験やスキルに応じた就業支援プログラムの提供
- 3 企業の正規雇用化の転換を促す、国の助成金に同額を助成する新たな助成制度の創設
- 4 職業訓練の継続

こうした個々のニーズに応じた多面的な支援に取り組み、安定した職に就くことを希望する方への就労支援を実現していきます。

創業の場の提供を積極的に推進

就労の促進には起業、創業による就労の場の拡大が必要です。都は平成27年度から、創業希望者のニーズに応じたインキュベーション施設整備の促進、地域の空きオフィスや店舗とのマッチングを推進するなど、それぞれの仕事の内容に適した創業の場の提供により、雇用の拡大につなげていきます。

※インキュベーション施設：起業や創業をするために活動する入居者を支援する施設

